

スポーツや芸術をたのしむように
＜科学をたのしむ！＞が当たり前の中の世の中に…

全ての学問は、
科学技術を抜きに進歩することはできない！

*

いつでも、どこでも、誰にでも、たのしい＜科学の体験＞を！



■驚いた！サッカーW杯は（も）＜最先端の科学技術＞で運営していた！

早朝に異例30.8%、悪夢の瞬間最高42.6%…。私も興奮しながら日本対ベルギーの試合を見ていました。情報によると、「番組占拠率も異例の87.8%、テレビをつけていた視聴者の8割以上が試合を見ていたことになる」と…。数字にも驚きますが、今回は純粹に「サッカーってやっぱり楽しい！」と改めて感動しました。と同時に、「組織・運営など、諸々全てが＜科学技術の最先端＞を導入して進められている」ということにビックリでした。世界一のビッグイベント！当たり前と言えれば当たり前のことですが、それにしても進歩が凄すぎます。例えば、主審が使う時計：スマートウォッチ（ウグロ：スイス・55万円ぐらい？）！あれも最先端の塊。また、試合を有利に進めるための＜分析＝戦術＞も、科学技術がないとどうにもなりませんから…。

チャンスがあれば、「ワールドカップと科学技術の進歩」のような、授業プランを作成してみたいものです。勿論！お金のことも…。(16強入りした日本には13億2000万円。優勝賞金は約42億円だそうです。日本のW杯が終わり、これからは活動に集中できそうです。★音田は高校時代サッカー部の主将！信じてもらえませんが本当です)

*



区民カレッジでも 科学実験教室！

★6月7月と区民カレッジ・府民カレッジで授業しています。「電子レンジとドラ・名字の歴史・イオンと食べもの・自由電子とドラ・10円玉・経済学：お金の歴史ともの作り」です。

こんなに多様な授業ができるのも、板倉聖宣先生原案の授業プランがあるからです。楽しかった！と嬉しい声をいただきますが、さすがに疲れます。★2019年度は、「授業するのは高大だけ！」にして＜授業人生＞を楽しみたいと思います。



■ 人生いつまでたっても「やってみなはれ」だ！

いま思うのは、世の中で一つだけはっきりしている真実があることだ。それは、「未来は誰にも分からない」ということ。今日はピンピンしていた人が明日は死ぬかもしれない。明日死ぬかと思っていた人が、あと20年生きているかもしれない。それは、今日の段階では分からない。ただ、いつかは必ず死ぬということだけは確かである。だから、人生とはこういうものだ^{てんてん}と妙な結論をつけないで、起承転々で流れていけばいいのではないか。起承転々で流れていくという以上、新しく何かを始めることが大切だ。五木寛之も言っているけど、人生に目的はないということ

だ。目的はつくっていくものである。あるいは、五木流に言えば、目的などなくとも、立派に楽しく生きていける、ということである。経験的に言えば、一つだけだったら飽きるから、十年単位で新しいことを見つけた方がいい。人によっては、五年単位でもいい。60歳から自分のペースで新しい何かを一つずつ加えていく。それが人生だと思う。やってみたいことはまだまだあるはずだから、サントリーの社是ではないけれど、「やってみなはれ」でいったらいい。人生いつまでたっても「やってみなはれ」だ。チャレンジ精神を失ったらつまらない。もっと正確に言えば、枯れたところと、一向に枯れないところの両方があっていい。それが人間らしい。人間らしくやりたいな。(江坂彰・「定年の迎え方」より)

★10年単位で新しいもの…。私にはできない話。旅行へ行ってもすぐに飽きてしまうし、何をやっても続きません。続いているのは、大好きなコーヒーを飲みながら喫茶店で新聞を読むことと、「科学の授業やイベントの企画・実践」です。これだけは、一度も飽きることなく、30数年続いています。現職の頃から多数のイベントを企画してきました。勤務する小学校を借り切って、全国研究会を実施したことも…。★音田は教師というより<イベント屋だ>と揶揄されたこともあります。が、これも嬉しい評価。「私には授業もイベントもどちらも好きでした。<仮説・実験>の視点で企画・実践していたから」です。

★今、高大活動ができるのも、その時の経験があるからでしょう。嬉しいです！(音田)